

特集

倫理的ディレンマを考える

医療福祉の現場で日常的に起こるさまざまな問題。ケアの専門職は関係者の相反する期待や揺れ動く思いの間で板ばさみになりがちです。問題は複雑に絡み合い、どんなに努力してもその解決に何らかの倫理的ディレンマを伴うケースが多く存在します。当事者が納得できる解決を導くためにはどのようなプロセスを必要とするのか、事例を通して考えます。

医療福祉の現場で出合う倫理的ディレンマと解決のプロセス

事例①デイサービス利用中に起こった事故の対処をめぐって

事例②必要な情報の共有と個人情報保護法、守秘義務の問題

事例③症状改善によって退院となる高齢者、医療（介護）難民の問題

渡邊美千代ほか

菊井和子

古川隆司ほか

齊藤信也ほか

■特別記事

診療報酬改定と訪問看護 大道千秋

【対談】訪問看護の明日を語る 和田洋子・秋山正子

判例から見る訪問看護と訪問介護の注意点 梶浦明裕

がん哲学外来とこれからの在宅医療 樋野興夫

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／イギリスの小児訪問看護の歴史と現状 多田羅竜平／わたしのことをわたしから 大橋晃太／ほんとの出会い 岡田真紀／訪問看護ステーションの現場をあるく 川越博美ほか／萌黄色のハンカチーフ 赤川次郎

編集後記

●今号の特集は「HIV 陽性者を受け入れる」。現在在宅で療養されている HIV 陽性者の方はそれほど多くないとはいえ、現状と推測される今後からあらかじめ対応策を練っておくことの重要性を感じました。将来に備えた対応策を意識していただけることになれば幸いです。さて、入社して本誌編集室に配属になり、あっという間に1年が過ぎ去ってしまいました。この1年でどれほど成長できたかと自問するものの、その答えはとても頼りなく、2年目に気を引き締めて挑む所存です。今後ともご指導よろしく願っています。……………富岡

●前号から始まった「イギリスの小児訪問看護の歴史と現状」と「高齢者虐待にどう対応するか」は、どちらも簡潔でわかりやすい連載となっています。1860年代に地域訪問看護師養成の学校がつくられ、地域訪問看護活動が広がっていったという英国の歴史の一部分を読み、それからどうなっていくの？と次回を待つ楽しさ。かたや家庭内のこととして対応が手遅れになりがちな虐待について、問題の在りかと対応をよくよくわからせてくれる見事さ。他の6つの連載と合わせて読者の皆様からのご感想・ご意見をお待ちしています。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第5号 2008年5月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2008, Printed in Japan
1部定価1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめ予約購読料13,200円(年間12冊, 消費税, 送料弊社負担)

発行:株式会社 医学書院/代表者:金原 優/販売部:03-3817-5659/社内案内:03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室:直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当:富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL http://www.igaku-shoin.co.jp

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCLS】<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。